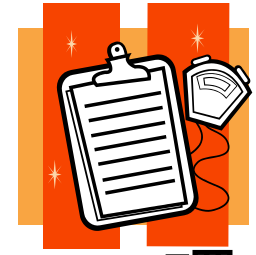
「手を止めて、確認しようタイムアウト」
～手術室にタイムアウトを導入して～

地方独立行政法人　静岡県立病院機構
静岡県立総合病院　手術室
海野　千歩子・気田　千恵美

タイムアウトの定義

(手術医療の実践ガイドライン　第2章　より)

- タイムアウトとは、ある時点で一時全ての作業を中止し、今回の手術について確認する作業である。
- スポーツに於いては試合を一旦止め、これを利用してチームが集まり作戦を練る事をいう。
- 手術室では、関係者が全て集まり確認作業をすることである。これにより、手術室の事故防止を図る。



- 2008年WHOの「患者安全の取り組み」の一環として「手術安全チェックリスト」が発表された
- 2010年3月　タイムアウト導入

今回の調査

- タイムアウト導入後の実施状況の把握
- その効果
- 手術室看護師の意識

静岡県立総合病院手術室　海野千歩子・気田千恵美

- 期間：2010年4月～2010年11月
- 対象：手術室看護師36名
- 方法：

全手術症例4438件を麻酔種別に分け調査

- 全身麻酔・脊椎麻酔・硬膜外麻酔
- 局所麻酔・伝達麻酔

①麻酔導入前
②執刀前
③手術室退室前　　の3つの場面に分けて実施

超緊急時は＊項目を（形成レーザー手術は＊と◎項目を追加）

月　日　氏名

手術室安全チェックリスト（全麻・脊麻・硬麻用）

外回りNsは項目を読みあげ確認し、チェックボックス□にレ点をする

看護師が患者様に「これからいろいろ確認をしていきますね」と声かけする

Nsサイン（　　）

麻酔導入前（モニター装着直後）	皮膚切開前（メスを渡す前）	患者の手術退室前（閉創終了直後）
麻酔医が「タイムアウトお願いします」	術者が「タイムアウトお願いします」	術者が「タイムアウトお願いします」
＊全員：患者様の氏名・部位・術式と同意の確認はされていますか？	＊術者が○○様の○○術を始めます	＊□術者：術式を教えてください
□はい	□はい（全員で）	＊□全員：器械・ガーゼ・針のカウントは完了していますか？
◎担当医：部位のマーキングはありますか？	全員：メンバーの自己紹介をお願いします	術者：標本はありますか？
□ある　□適応ではない	□執刀医→助手→麻酔医→手洗いNs→外回りNs	□ない　□ある
◎麻酔医：麻酔器と薬剤のチェックは済んでいますか？	学生・他の職員・業者等	術者・看護師：器材の問題はありましたか？
□はい	麻酔医：抗生剤投与は行われましたか？	□ない　□ある　⇒　何ですか？
◎麻酔医：パルスオキシメーターは装着されていますか？	□はい　□適応ではない	術者・麻酔医・看護師：
□はい	術者：手術に関しての問題や、いつもと違う手順はありますか？	□今後何か問題点はありますか？
麻酔医・担当医：アレルギーがありますか？	□ない　□ある	
□ない　□ある⇒　何ですか？	□手術時間は？　□予想出血量は？	
麻酔医：気道確保困難や、誤嚥のリスクはありますか？	麻酔医：麻酔に関しての問題はありますか？	
□ない　□ある　⇒　何か特別な準備はありますか？	□ない　□ある	
担当医：カプロシンの予定はありますか？	看護師：AVインパルスは作動されていますか？	
□ある　□なし	□はい　□適応ではない	
担当医：500ml（小児では7ml／kg）以上の出血の	□器械類の滅菌は確認しましたか？	
リスクがありますか？	□器械の準備で何か気になっていることはありますか？	
□ない　□ある　⇒□　担当医：輸血の準備はありますか？	術者：手術に必要な画像は表示されていますか？	
□麻酔科医：輸血のルートは確保しますか？	□はい　□適応ではない	

静岡県立総合病院手術室　海野千歩子・気田千恵美

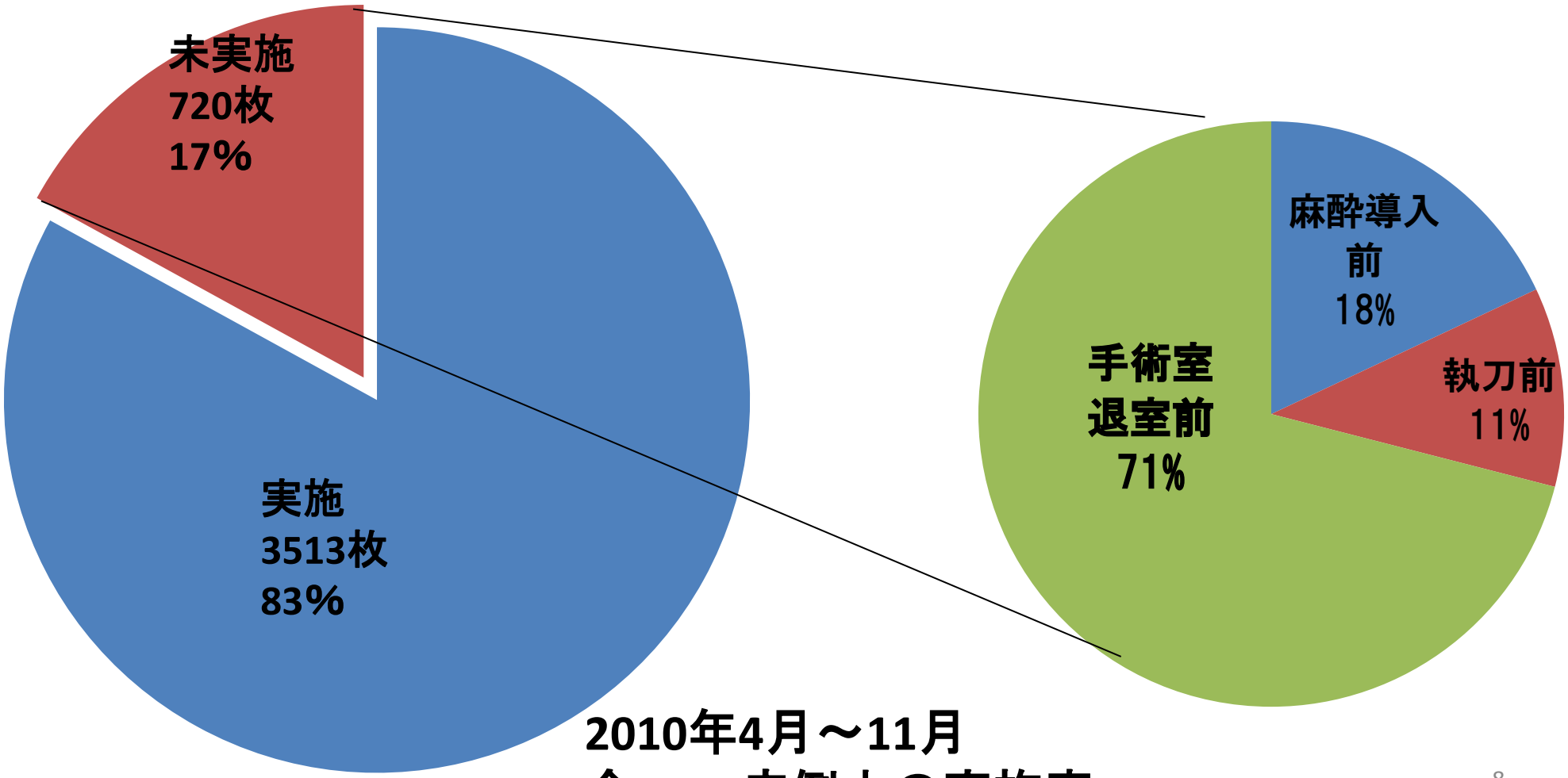
アンケート内容

- タイムアウトを実施して、未然に防げたことはありますか？
- タイムアウトを実施する上で、困る点は？
- タイムアウトが実施出来なかった時　その理由は？
- 気づいた事は？

静岡県立総合病院手術室　海野千歩子・気田千恵美

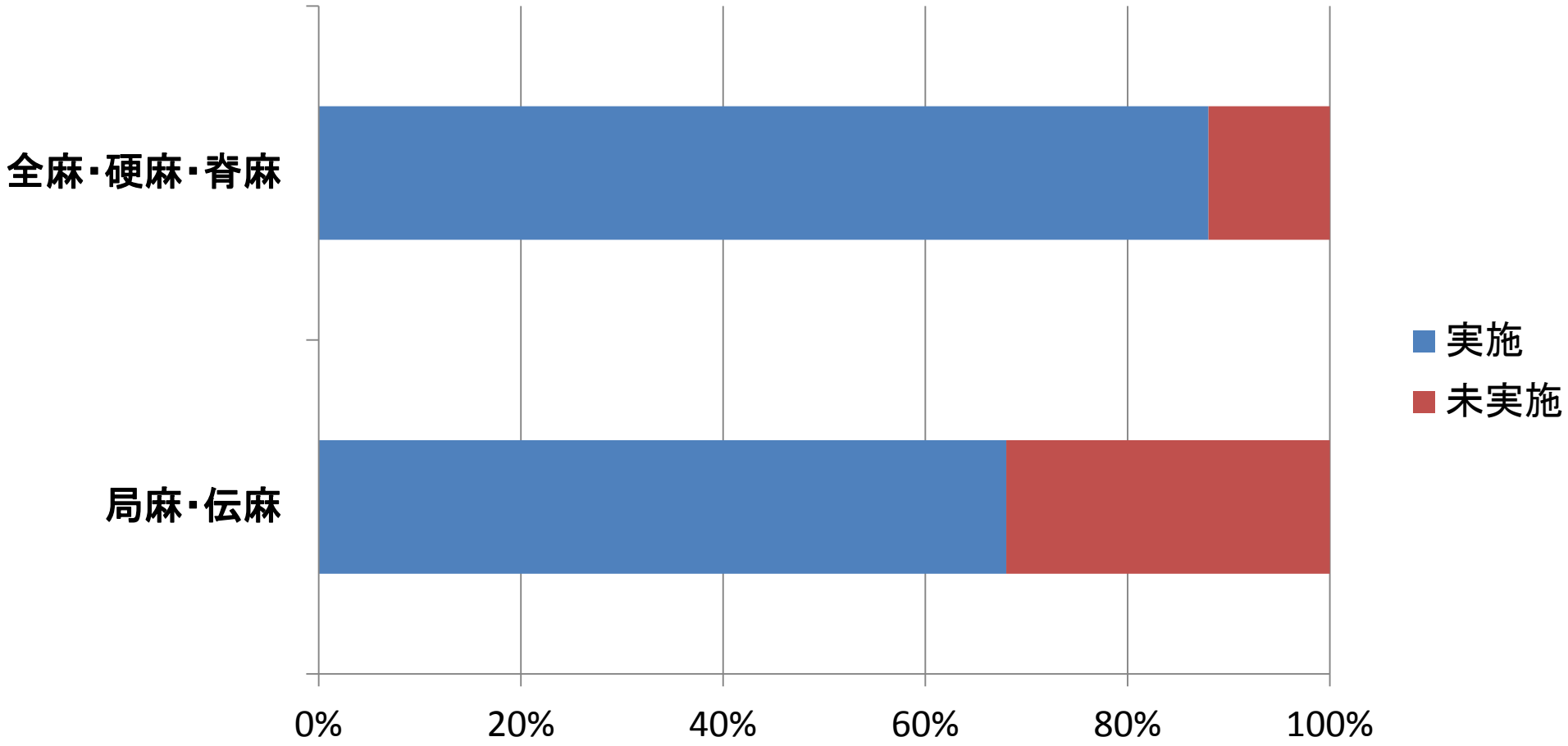
結果

タイムアウトの実施率



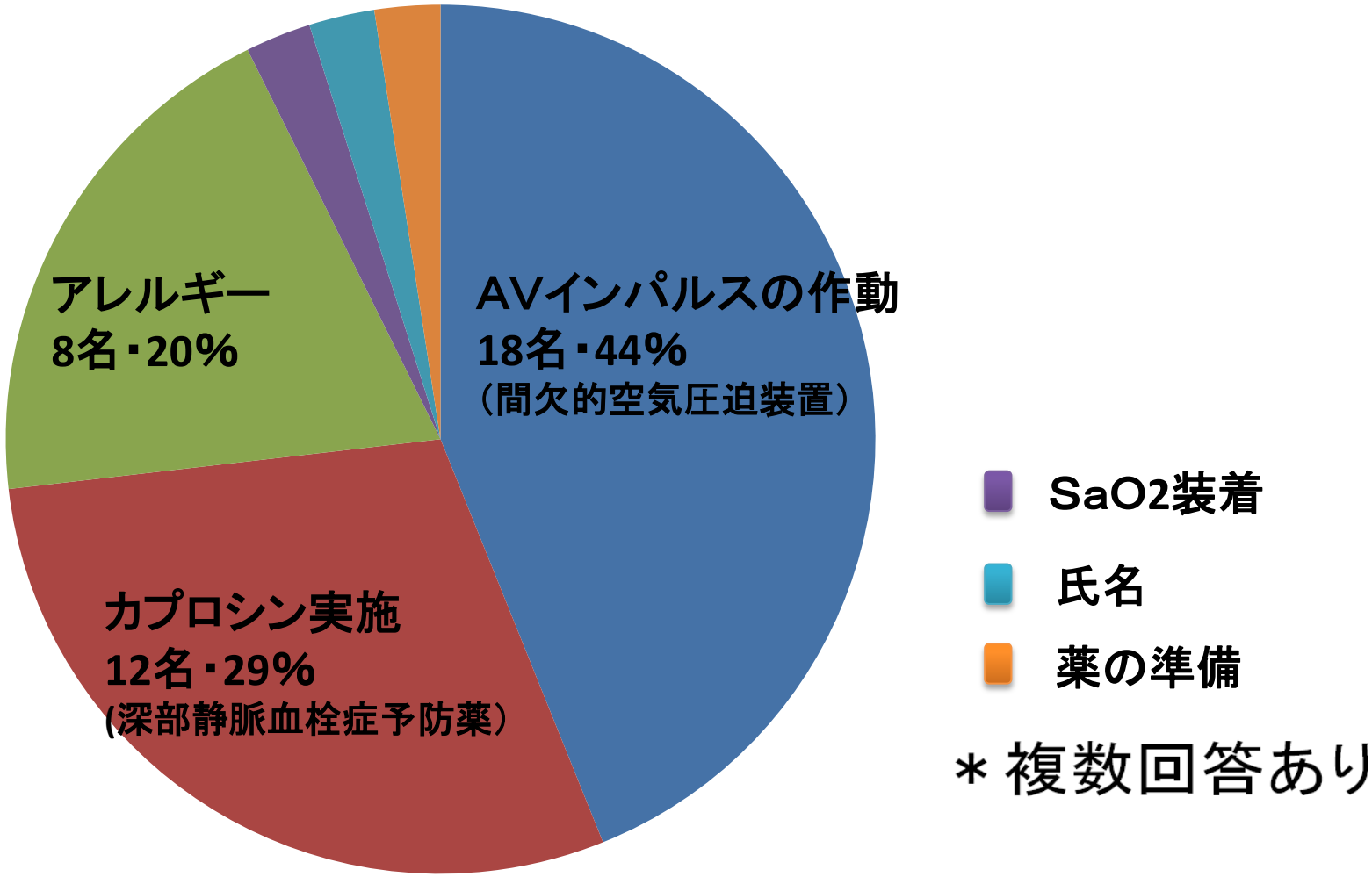
2010年4月～11月
全4438症例中の実施率

麻酔種別実施率



静岡県立総合病院手術室　海野千歩子・気田千恵美

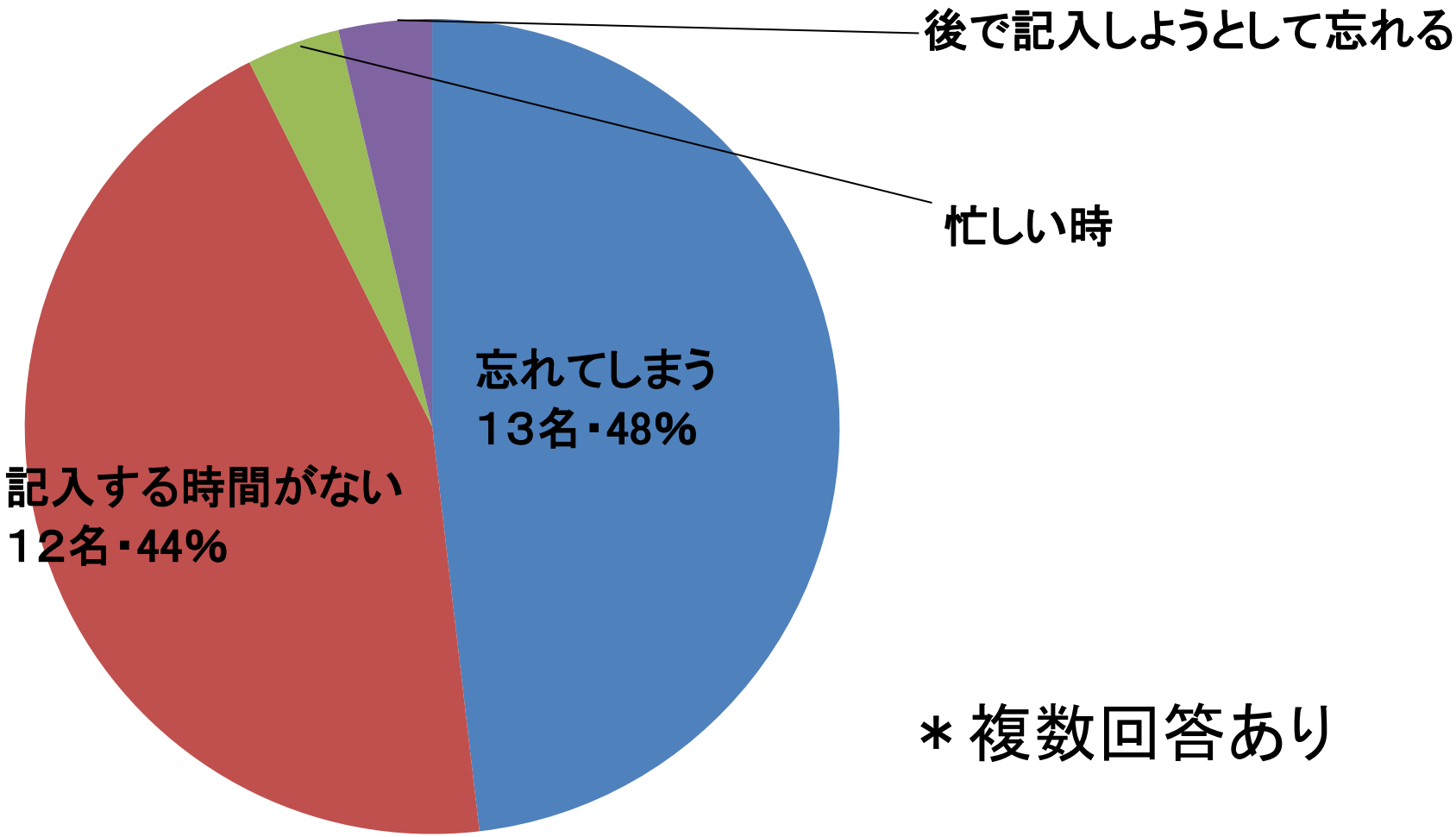
タイムアウトを実施して、未然に防げたことはありますか？



＊複数回答あり

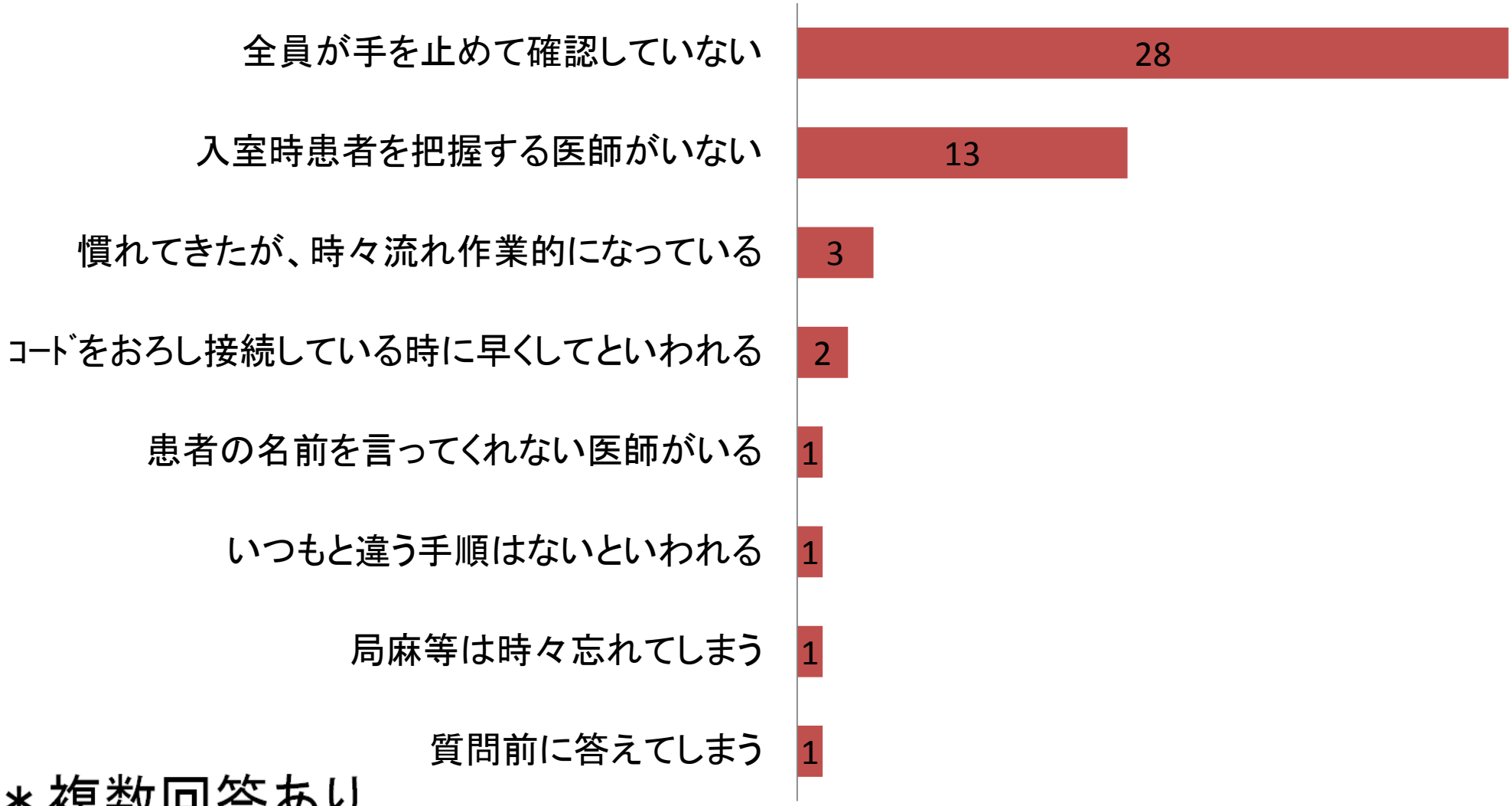
静岡県立総合病院手術室　海野千歩子・気田千恵美

タイムアウトができなかった理由は？



＊複数回答あり

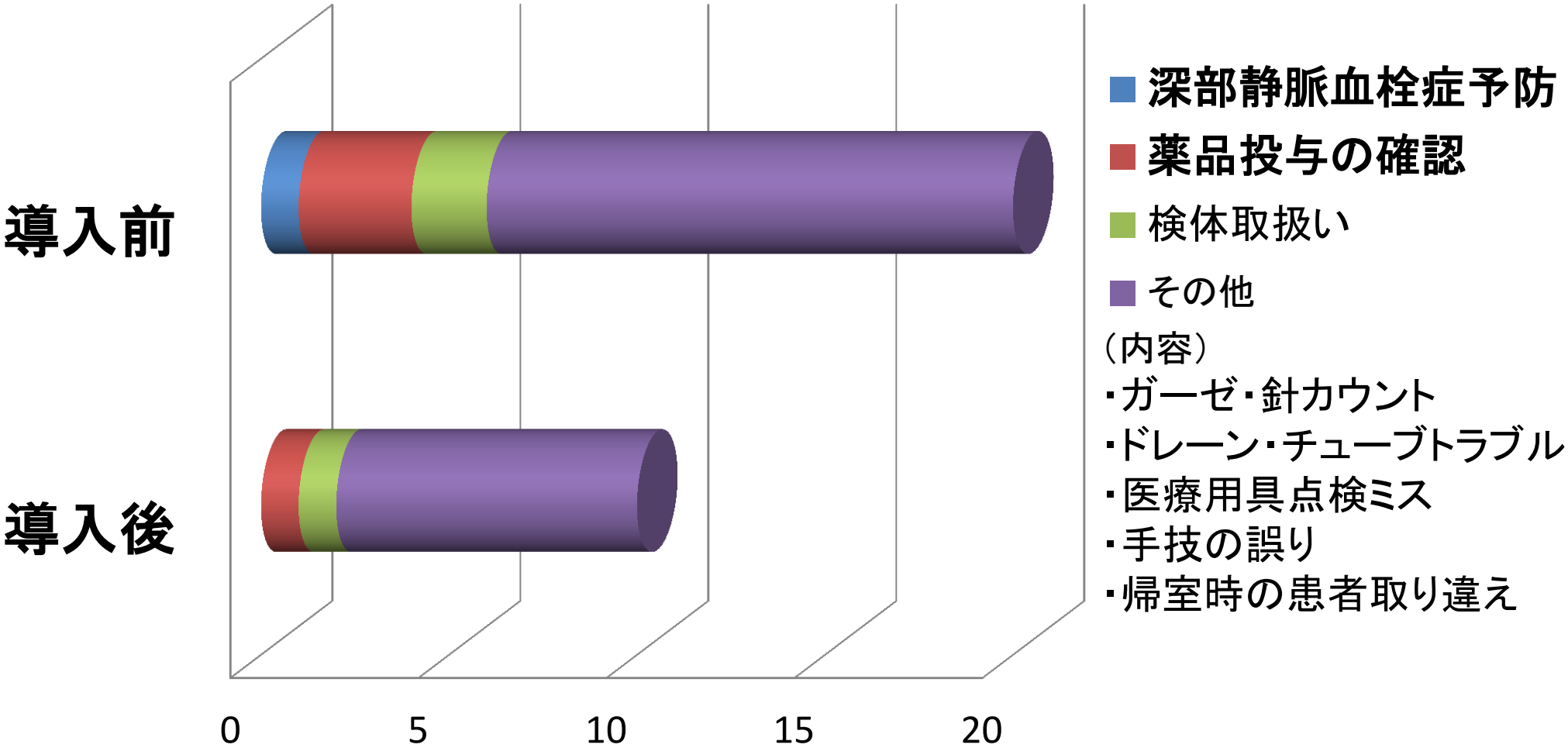
タイムアウトを実施する上で、困る点は？



＊複数回答あり

静岡県立総合病院手術室　海野千歩子・気田千恵美

インシデント件数



20件→10件に減少した

静岡県立総合病院手術室　海野千歩子・気田千恵美

結果のまとめ

- タイムアウト未実施　17% あった
- 未実施は、手術室退室前（71%）が多かった
- 局所麻酔は実施率が低かった(68%)
- 「全員が一致して手を止める」 ことが不十分

静岡県立総合病院手術室　海野千歩子・気田千恵美

考察 ①:　チェックし忘れ　について

- 手術室 退室前は、

　　看護師 :　同時に多重業務を行なう為時間的余裕が無い

　医師　:　緊張感からの開放

　のため、忘れる。

- 局所麻酔時は看護師1人で対応する事が多く、　手術介助を優先のため、忘れる

静岡県立総合病院手術室　海野千歩子・気田千恵美

考察 ②:　全員の手止め不十分　について

- 医師は　手術　に向けて、気持ちがはやっている
- 看護師が医師の雰囲気にのまれてしまう
- 時間の節約、スピードが一番の感覚が抜けきらない

静岡県立総合病院手術室　海野千歩子・気田千恵美

今後の対応

- 局麻手術・手術室退室前の実施率の向上のため
  - 再度、更衣室、休憩室に　ポスター掲示を行う。
  - 外回り看護師の注意喚起を促す。
- 手を止める事の徹底
  - 手術部門運営委員会で再度　タイムアウトの理念を再確認する
  - ポスター掲示

静岡県立総合病院手術室　海野千歩子・気田千恵美

結論

タイムアウト導入により医療者間の情報共有と再確認が行え、手術室でのインシデントが減少した。 タイムアウトの効果が確認できた。

ご清聴ありがとうございました